

# 大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより

令和7年(2025)5月29日

校長 塩見 登

## がんばれ！大淀中選手団(春季総合体育大会)



4月26日(土)から5月6日(火)にかけて京都市春季総合体育大会が開催されました。各会場で熱い戦いが繰り広げられたようです。また、大淀中学校では、たくさんの生徒が学校の部活動だけでなく外部団体に所属して活躍をしています。すべての生徒が大淀中選手団として活躍してくれました。渡り廊下にはお互いを応援するメッセージが掲示されています。一部になりますが大会の様子を紹介します。

(女子テニス部) 大淀中学校会場での開催でした。2年生の1ペアのみの出場で、上級生を相手に日々の練習の成果が見られる試合内容でした。これからの女子テニス部に期待です。

(柔道) 地域の柔道クラブで頑張っている2人が、春季大会に出場しました。1人は1年生ながら出場。もう1人の3年生は、京都市で準優勝でした。お見事です。

(男子バスケットボール部) 残り3秒までリードをしていました。しかし、ギリギリで同点に追いつかれてしまいます。3分間の延長戦の末、負けてしまいましたが本当に熱い熱い熱戦でした。この経験でどう成長していくか楽しみです。

(女子バスケットボール部) 順当に3回戦まで進みました。しかし、強豪校に惜しくも敗れてしまいました。最後まであきらめない姿を夏も見せてくれることでしょう。



(男子テニス部) 個人戦は、すべてのペアが予選突破となり、団体戦に挑みましたが結果は惜しくも予選敗退。夏は全市大会を目指します。



(バドミントン部) 個人戦のシングルス・ダブルス、そして団体戦でも全市大会出場を果たしました。全市大会は負けましたが、1年生部員もたくさん入部しました。

(サッカー部) 2-1で一回戦突破！2回戦の相手は格上のチームでした。前半はみんなで粘り、0-0で折り返すことができましたが、惜しくも2回戦敗退でした。

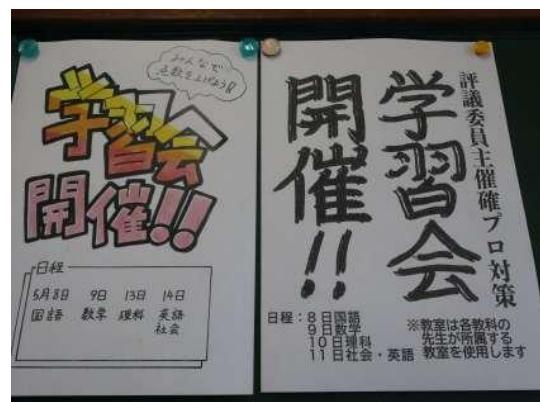


(陸上部) 100メートル・200メートル・800メートル・跳躍・投げ・1,500メートル。それぞれの目標に挑戦しました。投げ種目でファイナル進出です。

(バレーボール部) 1回戦。1セット目で流れをつかめず、2セット目も落としてしまいバレーボール部の春の大会が幕を閉じてしまいました。次は、勝利の笑顔を期待しています。

## 3年生が挑む！全国学調&確プロ

4月15日(火)と17日(木)2日間かけて、3年生を対象に、文部科学省の「令和7年度 全国学力・学習状況調査」が実施されました。国語・数学に加えて今年は理科も調査対象として加わります。理科に関しては、タブレットを使っての試験になります。結果につきましては、全国的な状況との関係で分析し、授業改善や子どもたち一人一人の学習活動の充実に活かしていきます。調査結果の概要等につきましては、学校だよりなどを通じて、後日お知らせいたしますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。また、京都市が実施する学習確認プログラムのテストに向けて3年生が自主的に学習会を開催しています。自分たちで問題作成や採点までします。わからないところは、放課後に勉強会も行っています。これからの進路実現に向けて、自分だけでなくチーム3年生として主体的に動いているすばらしい取り組みです。



# 話す・聞く・返す(トークイン大淀)

“トークイン大淀”的取り組みも今年度で3年目になります。1年生が「初めての中学校生活」、2年生が「先輩になって」、3年生が「最高学年となって」というテーマで、代表生徒6名の発表に対して、学年を問わず意見や感想を述べます。昨年度は、体育館改修工事のため全校集会では出来ませんでしたが、今年は全校生徒が体育館に集合して行われます。この取り組みで大切にしたいことは、同級生・後輩・先輩関係なく大淀中学校の仲間が発表する雰囲気を作りあげること。聞いている人が聞く姿勢を作り、話す人が自信を持って発表すること。そして、発表者に対して意見や感想を返してあげることでつながりが出来ること。そのつながりが、生徒会目標の“全員が友達”につながっていきます。代表生徒の作品を、一部紹介します。



## (3年生の発表)

私は3年生になって、1・2年生の間に何もしてこなかったなど、少し後悔しています。なので少しでも後悔のない卒業式にしたいと思っています。後悔したことは、何にも挑戦しなかったことと、人を出来る限りさけ、特定の人としか関わらなかったこと、中学生になってから頑張って作った思い出や楽しかった思い出があまりないことです。その時は、何かに挑戦するのは怖いし、頑張って挑戦したいこともありませんでした。今も怖くない訳ではないけど何か一つ挑戦することをこの1年で見つけて挑戦すると決めました。今まで、人をさけて、特定の人としか関わらないようにしていたのは、気をつかって話したり、人と会うことが面倒に感じたりしていたからでした。でもこのままでは新しい人と出会うことも減ると思いました。少し人と関わってみると、優しい人、おもしろい人、話かけてくれる人、話してみたら仲良くなつた人もいて楽しいこともあります。だからこれからは、めんどうだと思わず多くの人と会って、関わっていこうと思います。中学生になって、これは頑張ったと思えることがなかったけど、修学旅行に行ったりして少し頑張ったらしい思い出が出来たから、さらに一つ頑張ってみようと思います。でも、まずは挑戦したいを見つけて、小さな挑戦をすること、人とたくさん関わることを頑張って、中学校を楽しかったと言って終われる後悔のない卒業式にします。今、言ったことを実行できるように頑張ります。

## ～淀から世界へ(校長の独り言)～

みなさんは、関西万博には行かれましたか？私は、まだ行っていないのですが、先日80歳を超える父から“今、万博のジンバブエのブースに来ている”そんな内容のラインが入りました。ジンバブエは、約25年前に私が青年海外協力隊のソフトボールコーチとして27歳から2年間活動していた場所です。父は、私が活動していたときの当時の写真を持って、全くしゃべれない英語でジンバブエ人に、“息子が昔、ジンバブエで働いていた”と伝えたようです。最後は、ジンバブエ人と2ショットをとって私に送ってきました。当時、母と妹が命がけでジンバブエまで私を訪ねて遊びに来てくれました。しかし、父は仕事も忙しく来ることが出来ませんでした。日本でジンバブエ人と父が繋がったことがとてもうれしく感じた瞬間でした。私は大学卒業後、営業マンとして勤務した後、退職してアフリカへ飛び立ちました。英語も全く出来ませんでした。しかし、そこで出会った子どもたちの目の輝きや世界の現状を伝えたいという思いが、私を教職の道へ導いてくれました。ジンバブエで出会った仲間が、私の人生を大きく変えてくれました。30歳を超えて“英語の先生なろう！”全く英語が出来なかった自分にとっては大きなチャレンジでした。しかし、目標や夢を持った人間のパワーはすごいです。目標や夢が中学生で見つかる人もいるでしょう。私のように30歳を超えて持つ人もいるでしょう。目標や夢が出来たときに、チャレンジできる準備をするのが中学校生活です。今の頑張りは、必ず将来につながります。

“淀から世界へ”校長の独り言は、次回へ続きます。

(次号予定) ■修学旅行を振り返る ■本格始動のチーム担任制 ■春季大会(水泳部)

■夏季大会(陸上部) ■チャレンジ体験 ■人権学習 ■～淀から世界へ(校長の独り言)～ など